

令和 5 年度

5生工第8号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)

(有) サクライ 設計

図 面 目 録							
図 番	図 面 名 称	縮 尺		図 番	図 面 名 称	縮 尺	
		A 1 判	A 3 判			A 1 判	A 3 判
M-01	表紙・図面目録	—	—				
M-02	改修 特記仕様書（１）	—	—				
M-03	改修 特記仕様書（２）	—	—				
M-04	設備 標準図 （１）	—	—				
M-05	設備 標準図 （２）	—	—				
M-06	配置図、付近見取り図	1／300	1／600				
M-07	消火栓設備機器表・計算書	—	—				
M-08	屋内消火栓（既設）地階 1階平面図	1／150	1／300				
M-09	屋内消火栓（既設）2階平面図	1／150	1／300				
M-10	地階 消火栓ポンプ室詳細図	1／30	1／60				
M-11	事務室 平面詳細図	1／30	1／60				









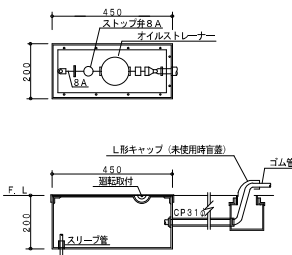
15

床埋込形給油口ボックス撤去要領

S=1/10

《 給油口ボックス処理要領 》

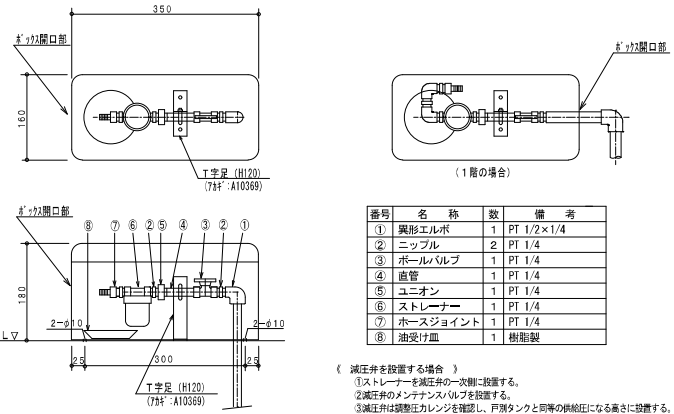
① ボックス内部品（ストップ弁・ホース・配管類・ストレーナー等）を撤去する。  
② ボックス内部清掃（油分を取り除く）。  
③ 蓋、L型キャップを撤去する。  
④ 撤去後のモルタル埋めは建築工事とする。



16

床置露出形給油口ボックス配管要領

S=1/5



番号	名称	数	備考
①	異形エルボ	1	PT 1/2×1/4
②	ニツプル	2	PT 1/4
③	ボールバルブ	1	PT 1/4
④	直管	1	PT 1/4
⑤	ユニオン	1	PT 1/4
⑥	ストレーナー	1	PT 1/4
⑦	ホースジョイント	1	PT 1/4
⑧	油受け皿	1	樹脂製

《 減圧弁を設置する場合 》

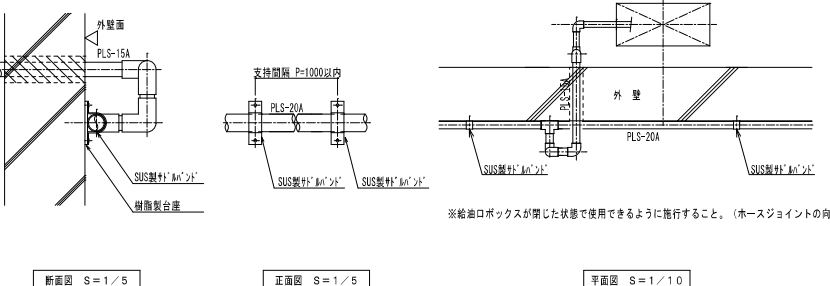
①ストレーナーを減圧弁の次側に設置する。  
②減圧弁のメンテナンスバルブを設置する。  
③減圧弁は調整圧カレンジを確認し、戸別タンクと同等の調整圧になる高さに設置する。

注：ボックス開口部にホースジョイントの向きを合わせる。

17

屋外露出油管配管要領

S=1/5、1/10

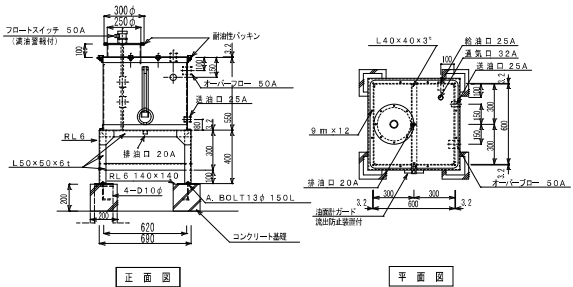


※給油口ボックスが閉じた状態で使用できるように施行すること。（ホースジョイントの向きに注意）

18

中継タンク詳細図

S=1/20



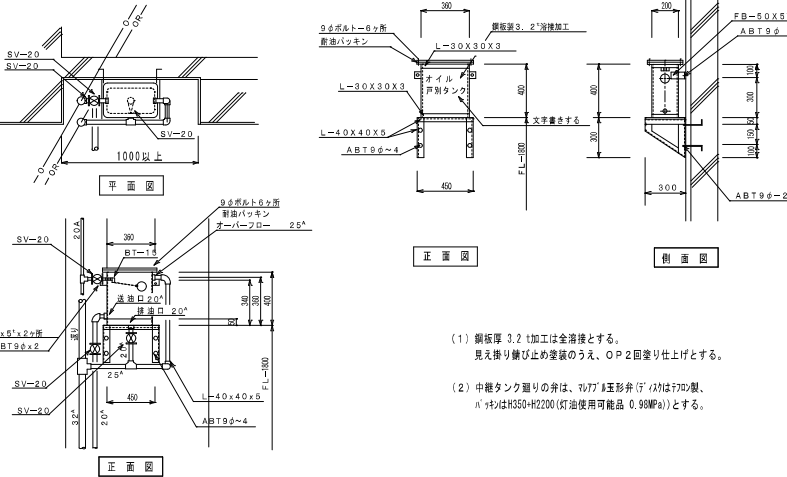
(1) 鋼板厚 3.2 t 加工は全溶接とする。  
見え掛り継ぎ止め塗装のうえ、OP2回塗り仕上げとする。

(2) 中継タンク廻りの弁は、7771玉形弁 (7771は770製、n°yはH350-H2200 (灯油使用可能品 0.98MPa)) とする。

19

戸別タンク詳細図

S=1/20



(1) 鋼板厚 3.2 t加工は全溶接とする。  
見え掛り継ぎ止め塗装のうえ、OP2回塗り仕上げとする。

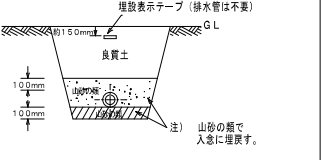
(2) 中継タンク廻りの弁は、7771玉形弁 (7771は770製、n°yはH350-H2200 (灯油使用可能品 0.98MPa)) とする。

20

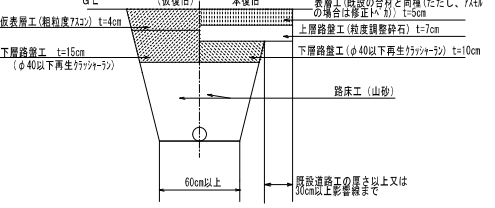
根切り埋戻し要領

21

構内舗装復旧要領



注) 山砂の類で入念に埋戻す。



路面工 (山砂)

既設道路工の厚さ以上又は30cm以上影響域まで

有 限 公 司 サ ク ラ イ 設 計

設計者等 氏名  
代表者 澤 田 洋 子

建築士登録番号等  
登録番号: 3358 第1250505号

工事名称  
5生工第8号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)

図面名称  
設備 標準図 2

年月日  
2023.05

図面番号  
M-05

電 話  
056-222-2222

電 信  
056-222-2222



## 消火設備 機器表

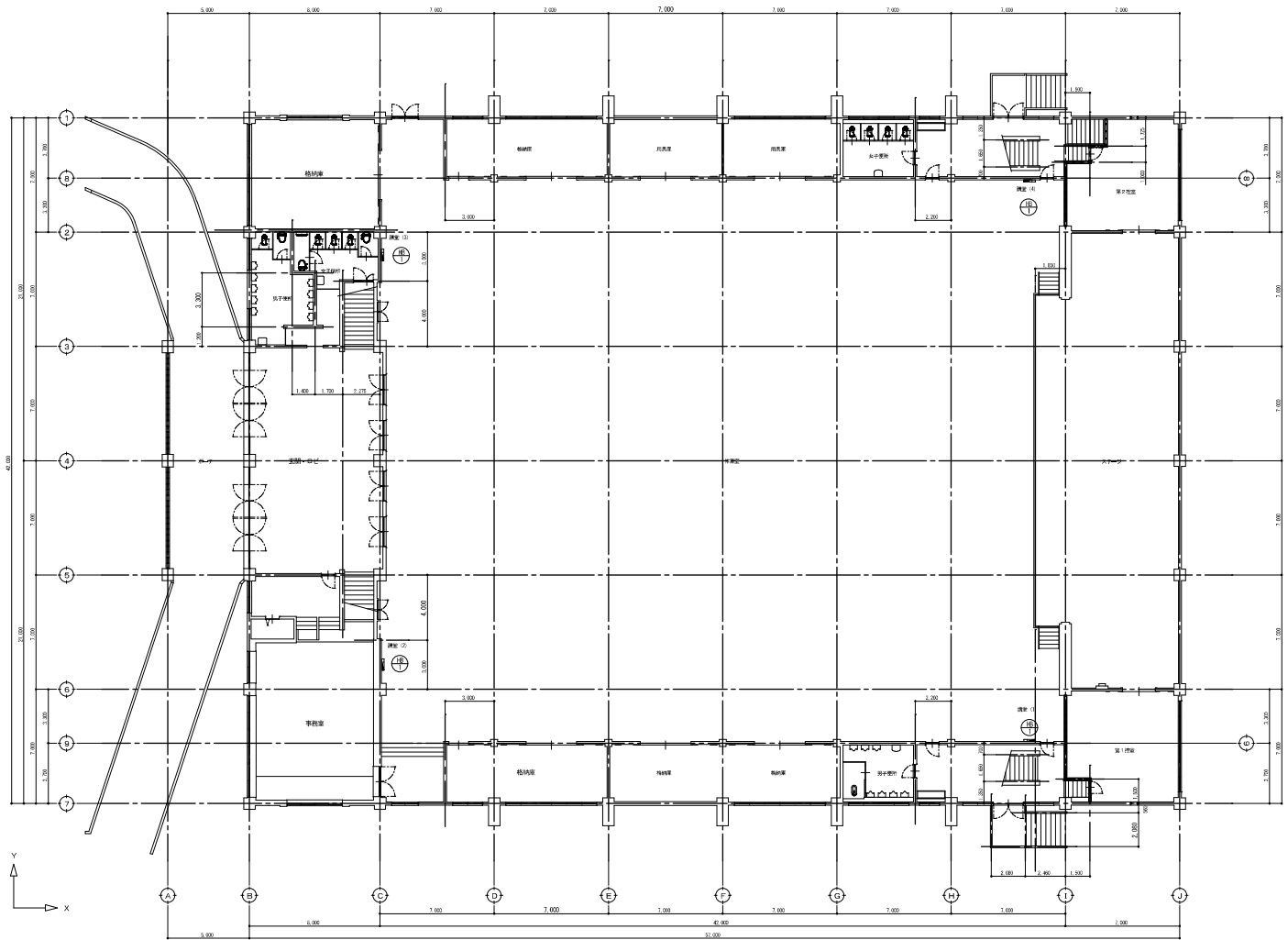
記 号	名 称	台数	仕 様	電源・消費電力			設置場所			備 考
				φ	V	W・kW	階	間	室 名	
PFL-1	屋内消火栓ポンプユニット	1	型 式 日本消防設備安全センター認定品 仕 様 φ50×300 L/min×65m  制噴器 管組（消火水標減速水、呼吸水標減速水） 外部出力（警報一括）、他標準仕様一式  付属品 止水弁、逆止弁、フット弁（SUS製）、76417 k継手、圧力計 連成材、他標準付属品一式	3	200	5.5 kW		1	消火栓ポンプ室	MFP-MXF50X-4-S5_58
TW-1	消火栓用専用受水槽 （受水槽詳細図参照）	1	型 式 PSFB-B-10 （2.0×4.0×1.0H）  容 量 有効 8.0 m3 寸 法 2,000R×4,000D×1,000H 耐震仕様 設計用水平密度：1.00 G 他付属品一式（受水槽詳細図参照）							
HB-1	屋内消火栓箱（既設）	8	型 式 協操作性1号消火栓 埋込形  付属品 n'k7、J'A's、8-3（30m）、他標準付属品一式				体育館	1	講堂1～4	
								2	ギャラリー（5～8）	

## 消火設備 計算書

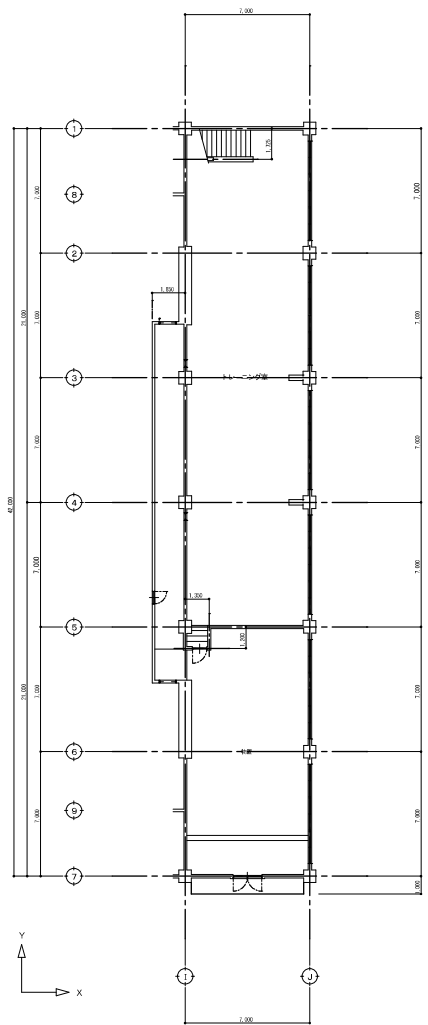
消防設備の種類	内火気発生設備（高操作性1号火気灯）	備 考	
水素水量	同時開口数：N	2 個	
	有効水量：2.6×N	5.2 m <sup>3</sup>	ボンプ室設置
ボンプ吐出量	同時開口数：N	2 個	
	ボンプ吐出量：150×N	3 0.0 L/min	
ボンプ全編程	配管摩擦損失水頭：h <sub>1</sub>	1.0 m	
	実揚程：h <sub>2</sub>	6 m	
	ノズル放水圧力水頭：h <sub>3</sub>	1.7 m	
	消防ホース摩擦損失水頭：h <sub>4</sub>	2.5 m	
	全揚程：1.1×(h <sub>1</sub> +h <sub>2</sub> +h <sub>3</sub> +h <sub>4</sub> )	6.3. 8m	
ボンプ仕様	(P F U-1) φ50×300L/min×65m (日本消防設備安全センター認定品)		
専用水栓	耐震基準適合品 F R P 製8.0m <sup>3</sup> 水平型直径1.0G		

■ 特記事項

1. 屋内消火栓は、水平距離25mで建物を包含する位置に設置する。
2. 消防用設備については、消防機関と事前打合せを行うとともに、消防法令で定める技術上の基準に従って設置する。



1階平面図 S=1:150

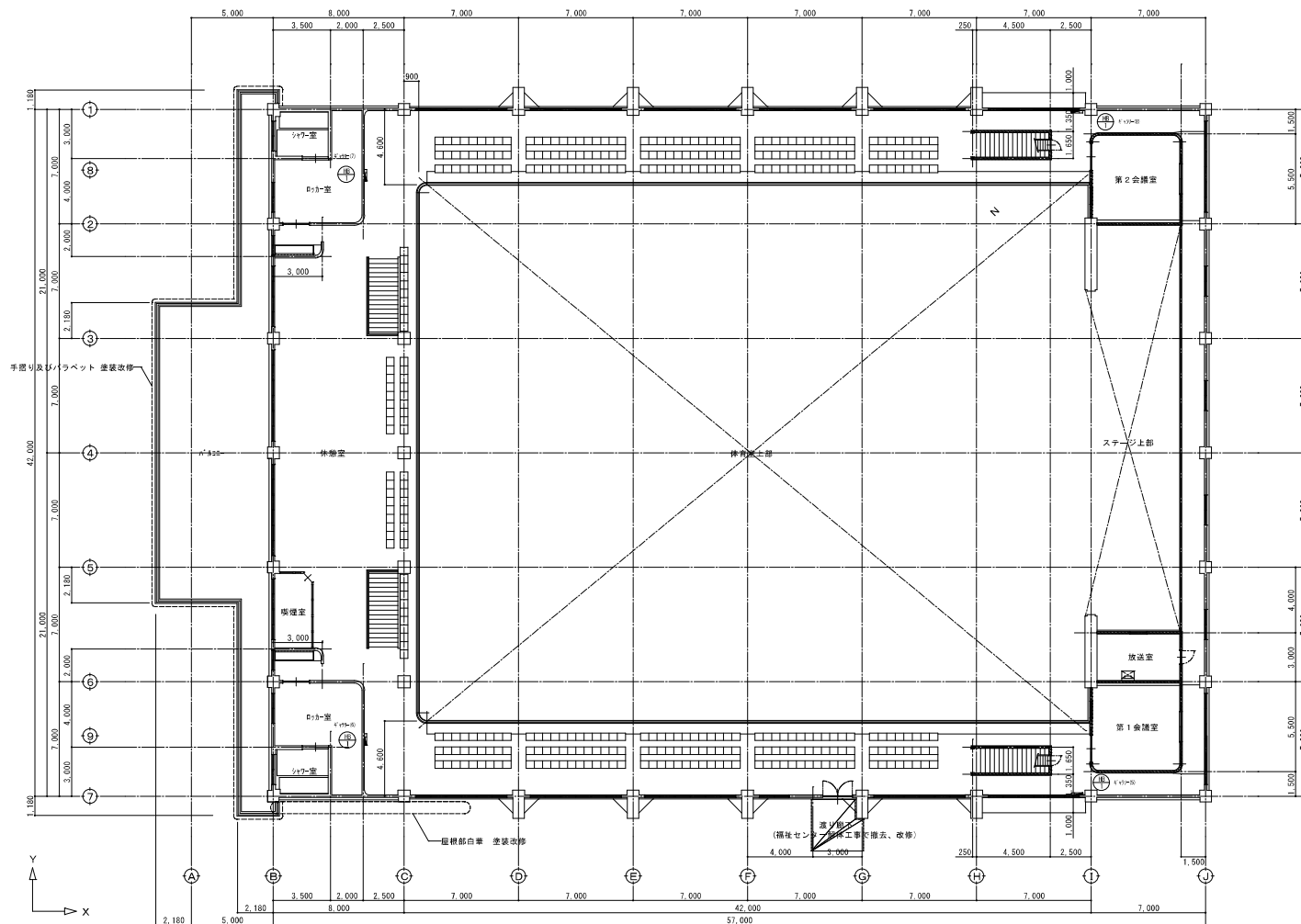
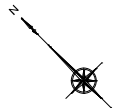


地階平面図 S=1:150

備考					有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計 〒500-0001 岐阜県岐阜市山ノ下1-1-1 3 9 5 5 5 5 (公財) 設計 →岐阜県岐阜市有井町(〒500-0001) 3 9 5 5 5 5 TEL 05-259-0008・FAX 720-0000 →岐阜県岐阜市 第 2 4 2 2 2 2 号 登録建築士 浅 井 守 人	設計者等氏名 櫻 井 幸 治 建築士登録番号等 岐阜県登録 第125055号	工事名称 5生工第8号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)	年月日 2023.05	図面番号 M-08			
										図面名称 屋内消火栓(既設) 地階1階平面図	縮尺 1/150 1/300	意 識 横 ⑩

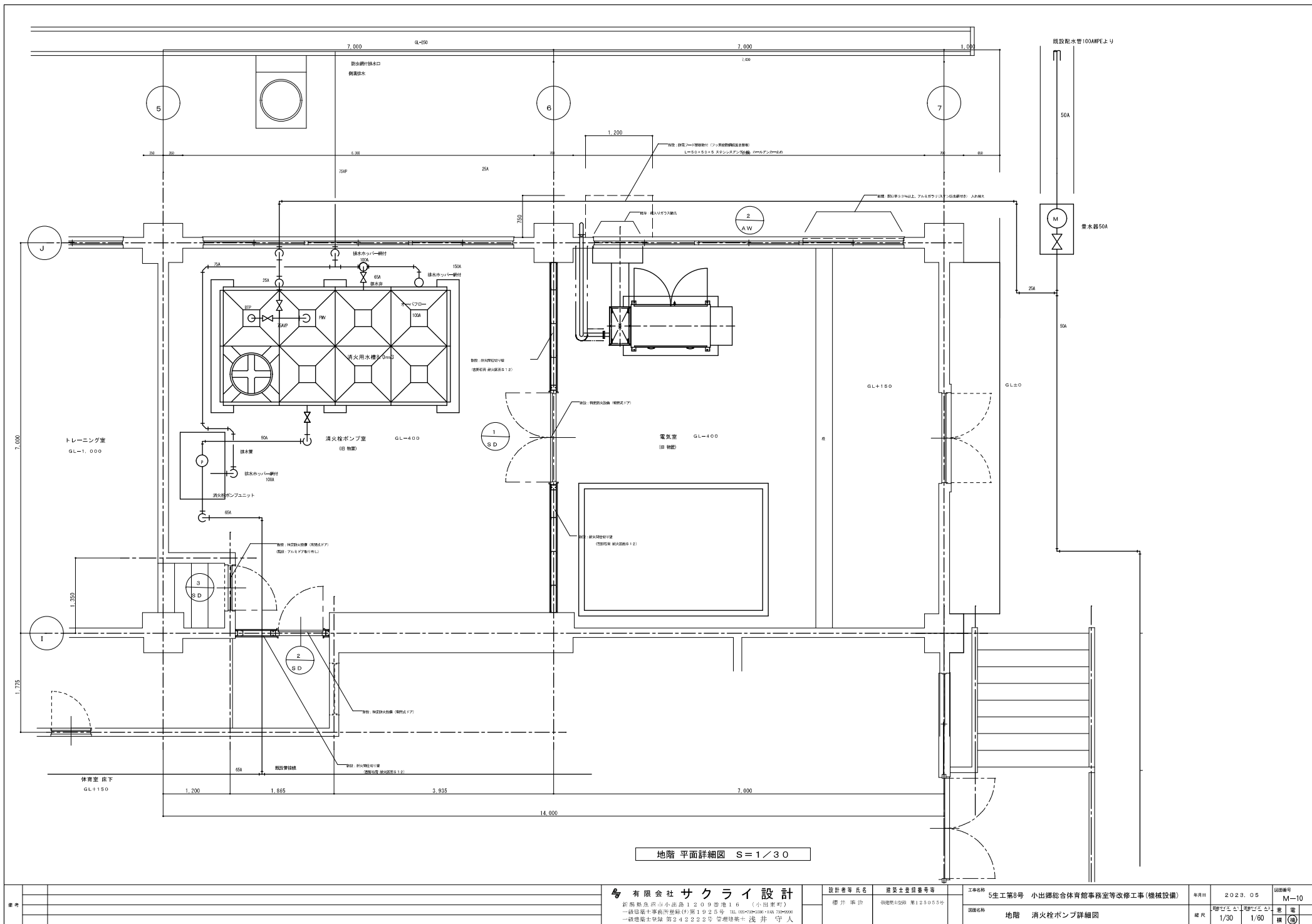
有限会社 サクライ 設計  
〒500-0001 岐阜県岐阜市小出南1209番地10 (小出南町)  
一級建築士事務所(登録) 第19255号 TEL: 0572-250555 FAX: 732-9999  
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人





2階平面図 S=1:150

備考		有限会社 サクライ 設計	設計者等 氏名 櫻井 幸治	建築士登録番号等 秋穂敬士 登録 第1250055号	工事名称 5工第8号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)	年月日 2023.05	図面番号 M-09
		新潟県新潟市小出南1209番地16 (小出郷町) 一級建築士事務所 櫻井 幸治 191025号 TEL:05(75)2008 FAX:752009 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人			図面名称 屋内消火栓 (既設) 2階平面図	縮尺 1/150 1/300	意 識 横 ⑨



地階 平面詳細図 S=1/30

備考	有限会社 サクライ 設計				設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2023.05	図面番号	M-10
	〒192-0501 東京都武蔵野市有明町1-2-16 (小田急町) 一級建築士事務所 杉野 邦子 代表 (TEL: 03-5451-1111 FAX: 03-5451-1112) 一級建築士登録 第2422222号 管理建築士 浅井 守人				藤井 崇 治	登録番号 第125055号	5生工第8号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)	図面名称	地階 消火栓ポンプ詳細図	縮尺	1/30 1/60 横 縦

